

記事解説

平成 30 年 7 月 5 日
日本原子力研究開発機構

件名： もんじゅの燃料処理に数千億円か 廃炉総額が 1 兆超の可能性

平成 30 年 7 月 5 日（木）

福井新聞、東京新聞、中日新聞他（web 記事）

記事概要

- 使用済み燃料の処理に数千億円以上かかる可能性があることが、関係者への取材で分かった。
- 廃炉の総額は 1 兆円を超える可能性が出てきた。

事実関係

- もんじゅ廃止措置計画において「使用済燃料については、国内又は我が国が原子力の平和利用に関する協力のための協定を締結している国において再処理を行うため、国内外の許可を有する事業者に譲り渡す。その具体的な計画及び方法については、第 1 段階（燃料取出し期間）において検討することとし、第 2 段階（解体準備期間）に着手するまでに廃止措置計画に反映して変更認可を受け」こととしており、現時点においては、具体的な処理方法も含めて検討している段階であり、試算をした事実はない。

以 上